

大豆作でのトリフルラリン乳剤の土壌混和処理による 帰化アサガオ類の防除効果

福島県農業総合センター 作物園芸部 畑作科

1 部門名

普通畑作物—大豆—雑草防除

2 担当者名

菅田充、大寺真史、伊藤稜晟

3 要旨

大豆作における難防除雑草として、帰化アサガオ類が問題となっている。一方で、近年トリフルラリン乳剤（商品名：トレファノサイド乳剤）の全面土壌混和処理が一部の帰化アサガオ類に対し効果があることが明らかにされたことから、播種直前に 200、250ml/10a（希釈水量 100L/10a）を全面土壌混和処理したところ、処理約 1 箇月後までは帰化アサガオ類の個体数が抑えられることを確認した。

- （1）トリフルラリン乳剤の処理直後にロータリーシーダで全面土壌混和し、大豆を播種した。
- （2）本試験では「マルバルコウ」と「ホシアサガオ」についての除草効果を確認した。
- （3）本剤のみでは完全には防除できないため、体系防除の一部として使用する。

表1 トリフルラリン乳剤処理後の帰化アサガオ類の個体数（福島市現地ほ場）

トリフルラリン乳剤 処理量 (ml/10a) ※1	個体数(本/m ²)				
	2022年			2023年	
	6/29 ※2 15日後	7/7 24日後	7/13 29日後	7/4 14日後	7/11 21日後
0	163	278	273	174	103
200	63	126	100	86	44
250	29	74	78	67	70

※1 全ての処理において、播種直後にジメテナミドP・リニュロン乳剤を散布した。

※2 播種後日数を示す。

4 成果を得た課題名

- （1）研究期間 令和3～7年度
- （2）研究課題名 畑作物の高品質・安定栽培技術の確立

5 主な参考文献・資料

- （1）宮崎隆雄,織田知宏,古橋孝将,臼井祐人,藤井清一,大豆作におけるトリフルラリン乳剤の全面土壌混和処理による帰化アサガオ類の防除,日本雑草学会第60回大会講演要旨集,p85,2021.